

平成23年度 第1回教育研究評議会議事録

日 時 平成23年4月13日（水）14時30分～18時14分

場 所 事務局大会議室・工学部大会議室（テレビ会議）

出席者 伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、船橋、杉山、佐藤、寺村、今野、梅澤、國宗、塩川、荒川、酒井、西原、増田、青山、塩尻、東郷、佐古、竹内、鈴木、渡邊修、澤田、永津、渡邊尚、田中、三村、村井、加藤の各評議員

陪席者 大戸、塩田の各監事
中村、太田、佐藤の各学長補佐

議事に先立ち、議長から、今年度新たに部局長及び評議員に就任した者の紹介、並びに、山崎委員から、新たに部長に就任した者の紹介があった。

続いて、議長から現体制2年目を向えての所信表明があった。また、議長から、東日本大震災における本学の対応について報告があった。

I 議事録の承認について

平成22年度第11回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学における静岡大学発ベンチャーの称号授与に関する規則の制定について

柳澤委員から、「静岡大学発ベンチャー」の称号授与に関する標記規則の制定について、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

2 共同教育課程による博士後期課程の設置に関する協定書の締結について

梅澤委員から、本学と愛知教育大学が大学院教育充実のため、共同教育課程による後期3年だけの博士課程の設置に関する協定の締結について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、梅澤委員から、4月25日（月）に協定の締結を行う旨発言があった。

3 地震以外の気象警報発令時等における授業休止措置のガイドラインの一部改正について

石井委員から、暴風、大雨警報等以外の状況に対応するため標記ガイドラインの一部改正について、資料3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 国立大学法人静岡大学長選考会議委員の選出について

議長から、標記会議委員の村井委員が平成23年3月31日をもって理学部長としての任期が満了となったことに伴い、次の理由により新たに委員選出を行いたいとの提案があり、これを了承し、参考資料4「学長選考会議の教育研究評議会からの選出方法について」に基づき、選挙を行うこととした。理由：村井委員は4月以降、学長指名により国際交流センター長となり、教育研究評議会構成員となったが、理学部長の立場で選考された時より状況が異なり、かつ、学長指名により教育研究評議会構成員となった経緯を踏まえて新たに選考する。

続いて、村井委員から被選挙者となることを辞退したいとの発言があったが、国立大学法人静岡大学長選考会議規則第3条に定める評議員（学長及び理事を除く）を被選挙者と規定していることから同規則に基づき、同人を被選挙者として扱い投票を行った結果、農学部の鈴木委員を選出した。

5 静岡大学名誉教授の称号授与について

推薦部局長から、名誉教授の推薦理由等について、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、名誉教授称号記授与式を5月18日（水）に実施する旨案内があった。

6 カリキュラム改革の基本方針について

石井委員から、前回本会議で審議した、カリキュラム改革の基本方針について、大学教育センター専門部会での審議状況の報告及び今後の進め方として、6月を目途に時間割等の具体的な提案をしたいとの発言があった。続いて種々意見交換を行った。

（意見交換で出された主な意見）

- 人的資源の配分等を含め、教育にかかる全体像を示してほしい。
- 学部の教育の特色を失わせる議論をしないでほしい。
- 浜松キャンパスにおいては、教養教育の担い手が文系・理系でアンバランスであり、初修外国語担当教員も少ない。
- 全学教職の取扱いについての議論がない。
- 教員の修士課程所属の動きもあるが教養教育とのすり合わせはされているのか。
- 全体的な方針を執行部の責任で提案してほしい。

7 学生の懲戒について

杉山委員から、学生の懲戒について、資料5により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、第1回企画戦略会議（H23.4.6）について、資料6により報告があった。

2 経営協議会報告

議長から、第6回経営協議会（H23.3.25）について、資料7により報告があった。

3 静岡大学における東日本大震災による被災大学の学生等に係る教育研究上の支援の特別措置に関する規則の制定について

総務部長から、標記規則の制定について、資料8により報告があった。

なお、標記規則の取扱いについて、意見交換を行った。

（意見交換で出された主な意見）

- 毎年7月に朝鮮大学校サマースクールでおしか荘を使用しているが例年どおり利用可能か。
- 学生を受入れた場合の単位互換はどのようになるのか。
→ 学生が所属する大学の判断である。
- 文科省や国大協からの支援要請等を一括して情報発信する必要がある。
- 部局、教員単位で個別に支援を行っている場合は、震災対策室に連絡願いたい情報を集約する。

4 平成23年度静岡大学入試状況について

石井理事から、平成23年度静岡大学入試状況について、資料9により報告があった。

5 平成23年度以降の中間アンケート（コメントペーパーの使用）について

佐藤学長補佐から、平成23年度以降、中間アンケートに代えて、「コメントペーパー」を使用することについて、資料10により報告があった。

なお、石井委員から、教員に周知願いたい旨依頼があった。

6 超領域研究推進本部の設置について

碓氷委員から、研究企画室に超領域研究推進本部を設置したことについて資料11により報告があり、意見交換を行った。

（意見交換で出された主な意見）

- 研究企画室は、理事の諮問組織であり、その中に超領域研究推進本部を設置するのは問題であり、別途全学的な組織を設置すべきではないか。
- 外部資金を獲得した後の事務的作業が荷重負担となっており、担当する組織の立ち上げが望まれる。

- 静岡においてバーチャルな研究組織を立ち上げたいとのことだが、「研究所」と「センター」では、規模等が違うため、どちらをつくりたいのか明確にしてほしい。
- 決定・合意されているものと、これから議論するものと区別が分かりにくいので明確化すべき。

7 教員の早期退職に関する取扱要項に基づく早期退職者について

議長から、早期退職者に係る手続きスケジュールについて説明があった。

8 中期計画・年度計画進捗管理システムについて

浅利委員から、標記システムの機能及び操作方法について、資料12により説明があった。

9 平成23年度科学研究費補助金交付内定について

学術情報部長から、平成23年度科学研究費補助金交付内定について、資料13により報告があった。

10 国立大学法人静岡大学教職員休暇等規程及び国立大学法人静岡大学非常勤雇用教職員休暇等規程の一部改正について

総務部長から、東北地方太平洋沖地震対応にかかる標記規程の一部改正について、資料14により報告があった。

11 評価会議委員の指名について

議長から、評価会議委員の指名について、資料15により報告があった。

12 静岡大学における男女共同参画に関する調査結果について

船橋委員から、席上配付資料により『静岡大学「女性研究者と家族が輝くオンデマンド支援」平成22年度報告書』等の説明があった。

なお、同委員から各部局に対し、「静岡大学理系女性研究者ロールモデル集」については女子学生に、『多目的保育施設「たけのこ」利用案内』については、全大学院生に教員を通じて配布願うよう要請があった。

13 教員採用報告について

議長から、資料17により、工学部3件の教員採用の報告があった。

14 叙位・叙勲について

議長から、資料17により叙位の報告があった。

IV その他

- (1) 村井委員から、留学生交流支援制度（ショートステイ・ショートビジット）について申請要請があった。

(2) 議長から、次回の教育研究評議会は5月18日（水）にテレビ会議で開催する旨発言があった。

以 上